



統合サイバーセキュリティプラットフォーム

Trend Vision One

Trend Vision Oneが選ばれる理由

セキュリティ担当者が抱える課題「複雑さ」を解決

45

"組織は平均で45種類以上のセキュリティツールを使用している"

- Ponemon Institute

39%

"企業の39%が「絶え間ない変化に対応することが最大の課題」と回答している"

- トレンドマイクロリサーチ

51%

"51%の組織が多すぎるアラートに苦悩している"

- トレンドマイクロリサーチ

統合プラットフォームTrend Vision Oneは、トレンドマイクロの幅広い製品群や3rd partyのセンサーを活かし、マルウェア等の脅威や、脅威とは断定できない不審な挙動を集約し、特有のスレットインテリジェンスを用いて解析することで、環境全体にまたがる攻撃の発見、影響範囲や侵入経路の特定、攻撃の全体像の可視化、自動化を含む迅速な対処など、高度なインシデントレスポンスを可能とする「XDR」を提供します。

また、インシデント発生時の対応にとどまらず、平時から環境全体の定量的なリスクの把握、評価、軽減を行うことでインシデントの発生予防を支援します。アタックサーフェスマネジメントを超えて、組織の定量的なリスク評価まで踏み込んだ「アタックサーフェスリスクマネジメント」を実現します。

Trend Vision One

知るべきことを、一つのコンソールに

平時のセキュリティ

将来のリスク予測 ▶ 影響度 ▶ 予防対策

Attack Surface Risk Management

ASM

異常の早期検出

公開資産のリスク

脆弱箇所の把握

リスクの評価

有事のセキュリティ

侵入経路の把握 ▶ 原因分析 ▶ 対応の優先度

Trend Micro XDR

XDR

設定や挙動情報の収集

感染からの復旧

攻撃の全体像把握

根本原因の把握

Zero Trust Secure Access

自社アプリ*への動的なアクセス制御

インターネットへの動的なアクセス制御

アプリ利用制御

*オンプレミス/クラウド含む

Zero Trust

サードパーティ連携

SOAR

SIEM

IAM

Firewall

脆弱性管理

他セキュリティ製品

Trend Service One

導入後の運用課題、不安も解消

MDR

24x365

運用支援

インシデント対応

原因と影響範囲の調査

Trend Vision One 統合サイバーセキュリティプラットフォーム

XDR

(Extended Detection and Response)

- ✓ クライアントPC
- ✓ クラウド上のサーバ
- ✓ オンプレミス上の物理/仮想サーバ
- ✓ ネットワーク
- ✓ メール
- ✓ Web

ASRM

(Attack Surface Risk Management)

- ✓ IDのふるまい検知
- ✓ ダークウェブモニタリング
- ✓ 脆弱性管理
- ✓ 定量的なリスク評価

Zero Trust

- ✓ 社内外すべての通信の動的な制御
- ✓ アプリケーションへのアクセス制御
- ✓ セキュリティ情報の監視と改善

Trend Vision One の導入効果

- インシデント対応速度を**70%**向上
- コストを最大**79%**削減
- サイバー攻撃の検出率が**2.2倍**に

Trend Vision One	導入前	導入後
1日あたりのアラート数	1,000件	4件
脅威を検出するまでの時間	11,520分 (192時間)	1分
調査にかかる時間	360分 (6時間)	90分
復旧にかかる時間	1,860分 (31時間)	6分

統合サイバーセキュリティプラットフォーム

Trend Vision One™

お客様の
声

「Trend Vision One™のXDR機能のおかげで、すべての情報を1つの場所に取り込むことが可能になり、サイバーセキュリティチームが異なるIT部門間を行き来することなく、全社規模で攻撃やイベントに対処できるようになりました」

Panasonic North America社 副社長 兼 最高情報セキュリティ責任者(CISO)
Samer Mansour氏

アタックサーフェスリスクマネジメント
アタックサーフェスの把握・リスクの評価・リスクの軽減

**ゼロトラスト
アーキテクチャ**

XDR(Extended Detection and Response)

マネージドサービス

エコシステムの統合



ユーザとID



Email



エンドポイントとサーバ



クラウド
インフラ



アプリケーション



コード
リポジトリ



データ



ネットワーク



5G



ICS/OT

メール
セキュリティ

エンドポイント
セキュリティ

クラウド
セキュリティ

ネットワーク
セキュリティ

データ
セキュリティ

ID
セキュリティ

リスクの軽減・ITオートメーション

オーケストレーションとオートメーション

カスタムプレイブック・ケースマネジメント

アタックサーフェスインテリジェンス・
ゼロデイ・イニシアティブ

グローバル規模の脅威情報

スレトリサーチ・ビッグデータ分析

AIのプライバシーと倫理・AIコンパニオン

AIネイティブな基盤

生成AI・カスタムLLM*・機械学習

* Large Language Models:大規模言語モデル

Trend Service One Complete -トレンドマイクロの支援サービス

対象組織

CSIRT

Trend Service One Complete

アカウント アドバイザリー サービス
(セキュリティ運用改善支援など)

製品保守・脅威対応優先サービス

インシデント
対応
サービス

Trend Service One Essentials

監視・調査・封込・レポートなど

SOC

防御

検知・対応

復旧



24時間×365日の監視と重大なアラート通知

迅速な根本原因と影響範囲の調査

確実な脅威根絶と再感染リスクの最小化

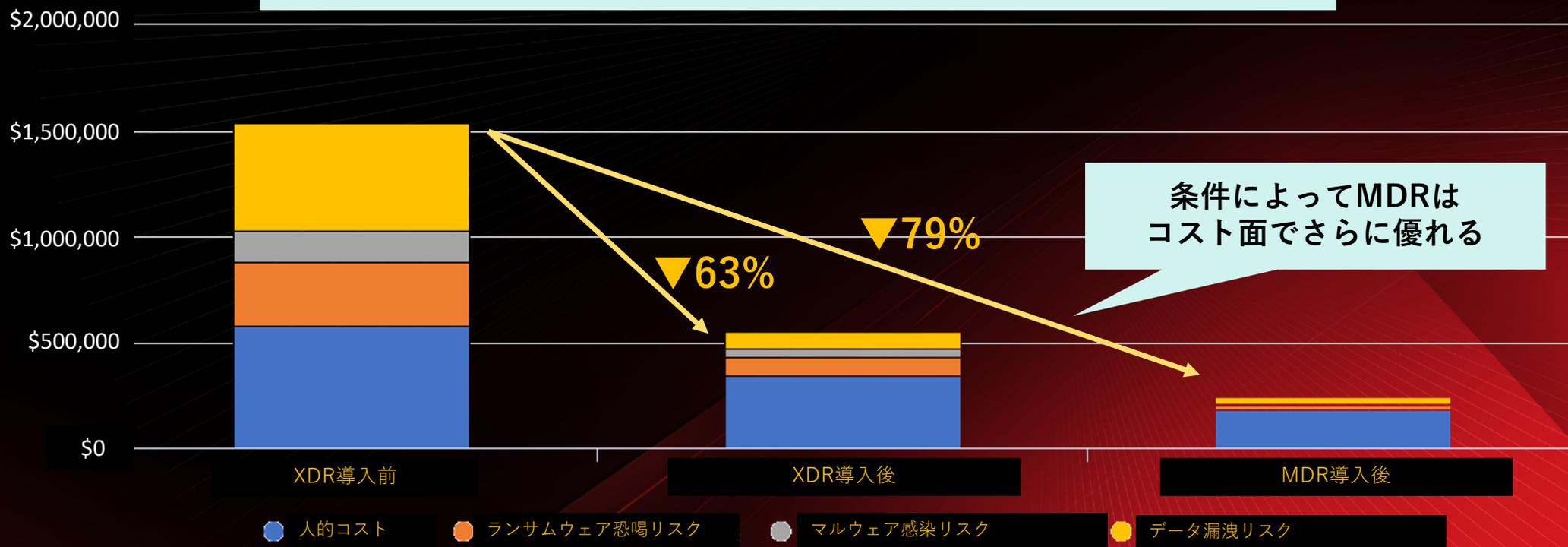
インシデント発生時の万全な支援

セキュリティ運用改善に向けた支援

プラットフォーム戦略で全体を最適化

従業員2,000人 3,400デバイス をTrend Vision Oneで管理した場合年間の『全体コスト』を63%削減

トレンドマイクロXDRの導入前後の年間セキュリティコストの比較

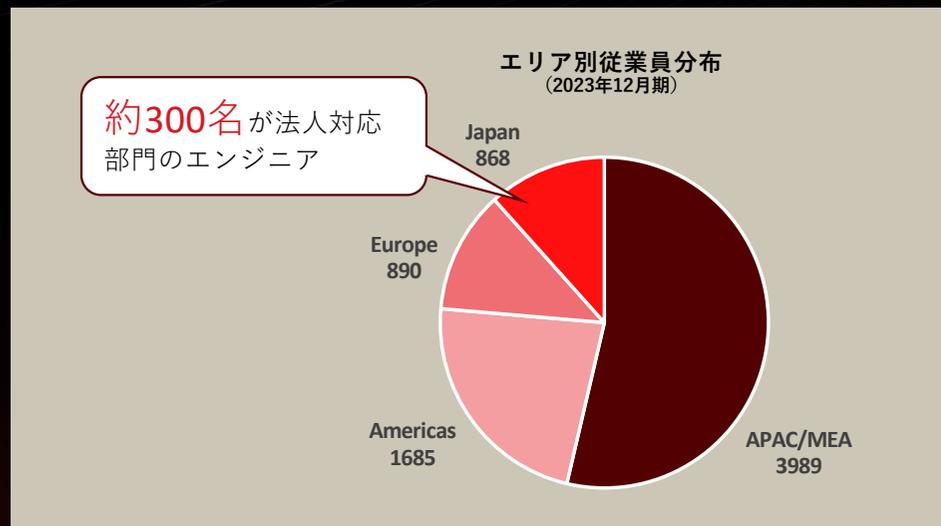


ビジネスを支える、サイバーセキュリティの信頼と継続。

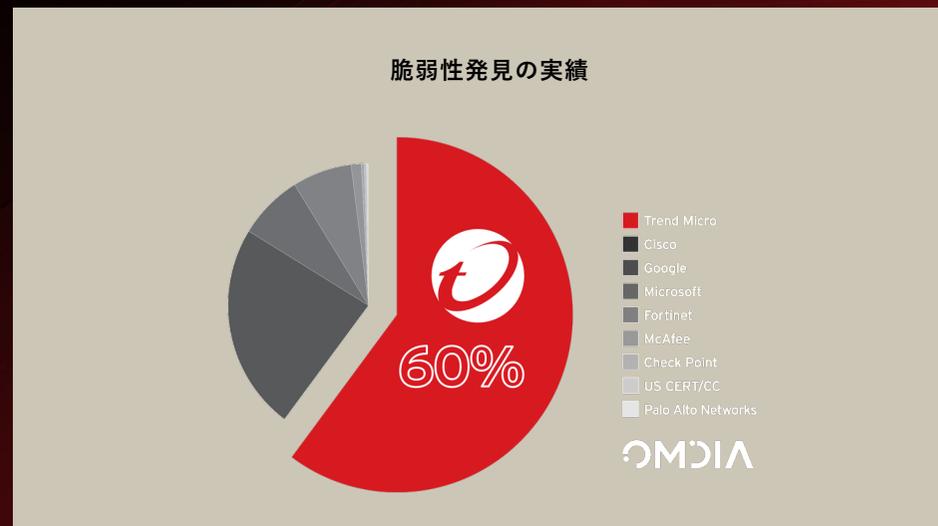
セキュリティ対策を検討する際には、機能や性能が大事なのは言うまでもありませんが、それが信頼できるベンダーから、将来にわたって継続的に提供されることも重要な選定基準となるのではないのでしょうか。

トレンドマイクロは、一貫して「信頼と継続」という安心をお客様に提供してまいりました。

300名を超えるエンジニアが
お客さまをご支援する体制を整えています



2023年 グローバルで発見された脆弱性のうち**60%**はZDI*が公表しています



製品一覽

従業員規模500名以上 (目安)

保護対象	製品名(Trend Vision One対応)	概要	製品名(Trend Vision One非対応)
クラウド環境のリスク評価	Trend Vision One – Attack Surface Risk Management for Cloud	クラウド環境における設定ミスやポリシー違反を検知し、リスクを可視化。	
Microsoft 365などのクラウドアプリケーション	Trend Vision One – Email and Collaboration Security (Core/Essentials/Pro)	Microsoft 365やGoogle WorkspaceなどのクラウドアプリケーションとAPI連携することで、クラウドストレージとチャットツール上のデータを保護。	
クラウドストレージ	Trend Vision One – File Security	Amazon S3にアップロードされるファイルをエージェントレスでスキャン、マルウェアの有無を確認。クラウドやオンプレミス環境に展開された独自システムにも対応可能。	
コンテナ	Trend Vision One – Container Security	コンテナイメージをスキャンし、結果に応じてデプロイを制御。さらに稼働中のコンテナの挙動監視や隔離などの機能によってコンテナランタイムを保護。	Trend Cloud One - Network Security
クラウド上のサーバワークロード	Trend Vision One – Endpoint Security (Core/Essentials/Pro)	クラウド上で稼働するサーバにEPPやNGAV、脆弱性対策、XDR機能を単一のセキュリティエージェントで提供。	
オンプレミスの物理サーバや仮想サーバ	<p>本製品は以下の製品の後継製品です</p> <ul style="list-style-type: none"> Trend Micro Cloud One – Workload Security Trend Micro Apex One SaaS 	オンプレミス環境上で稼働する物理サーバ、仮想サーバにEPPやNGAV、脆弱性対策、XDR機能を単一のセキュリティエージェントで提供。	Trend Micro Deep Security (*1)
クライアントPC		WindowsやMacOSベースのクライアントPCにEPPやNGAV、脆弱性対策、XDR機能を単一のセキュリティエージェントで提供。	Trend Micro Apex One (*1)
モバイル	Trend Vision One – Mobile Security	iOSやiPadOS、Androidの一元管理、位置情報把握、端末へのポリシー適用が可能。ユーザを危険なアプリから保護し、ダウンロードする際に不正か否かを判断。	
メール	Trend Vision One – Email and Collaboration Security (Core/Essentials/Pro)	ゲートウェイ・インライン・API連携からご利用環境に合わせて選べるメール脅威対策を提供。EMOTETをはじめとする不正プログラムやフィッシング、BECなどのメール攻撃を検知。	Deep Discovery Email Inspector
Webの通信	Trend Vision One – Zero Trust Secure Access (Internet Access/Private Access)	アカウントやデバイスのリスク状態などをもとにインターネットやプライベートアプリケーションに対するアクセスの動的な制御、インターネットアクセスの脅威検査など、ゼロトラスト実現への一要素となる機能を提供。	
生成AIサービス	Trend Vision One – Zero Trust Secure Access AI Service Access	生成AIサービスに対するプロンプトインジェクションをはじめとしたサイバー攻撃からの保護。機密情報の漏洩防止、シャドーAIサービスへのアクセス制御、不適切な生成AIからのレスポンスをブロック。	
ネットワーク上の通信	XDR for Networks	トラフィックを可視化し攻撃経路の調査を支援。NDRおよびXDRのセンサーとして機能。	
	TippingPoint	専用に設計されたハードウェアでハイパフォーマンスかつ高度な検知・ブロック機能を提供するIPS製品	Deep Discovery Inspector
自社環境のリスク評価	Trend Vision One – Attack Surface Risk Management	漏えいをはじめとするアカウントのリスクやデバイスが抱える脆弱性など、システム内の多様なリスクを可視化。対応優先度の判断に役立つリスクスコアなど効率的なリスクマネジメントを支援。	

Trend Vision One

保護対象	製品名 (Trend Vision One対応)	概要
Microsoft 365などのクラウドアプリケーション	XDR Trend Vision One – Email and Collaboration Security (Core/Essentials/Pro)	Microsoft 365やGoogle WorkspaceなどのクラウドアプリケーションとAPI連携することで、クラウドストレージとチャットツール上のデータを保護。
クラウドストレージ	XDR Trend Vision One – File Security	Amazon S3にアップロードされるファイルをエージェントレスでスキャン、マルウェアの有無を確認。クラウドやオンプレミス環境に展開された独自システムにも対応可能。
コンテナ	XDR Trend Vision One – Container Security	コンテナイメージをスキャンし、結果に応じてデプロイを制御。さらに稼働中のコンテナの挙動を監視してコンテナランタイムを保護。
クラウド上のサーバワークロード	Worry-Free XDR (*1)	クラウド上で稼働するサーバにEPPやNGAV、脆弱性対策、XDR機能を単一のセキュリティエージェントで提供。(Windowsのみ対応)
オンプレミスの物理サーバや仮想サーバ		オンプレミス環境上で稼働する物理サーバ、仮想サーバにEPPやNGAV、脆弱性対策、XDR機能を単一のセキュリティエージェントで提供。(Windowsのみ対応)
クライアントPC		WindowsやMacOSベースのクライアントPC、ChromebookにEPPやNGAV、脆弱性対策、XDR機能を単一のセキュリティエージェントで提供。
モバイル		iOS、iPadOS、AndroidにEPPやNGAV、脆弱性対策、XDR機能を単一のセキュリティエージェントで提供。
メール		XDR Trend Vision One – Email and Collaboration Security (Core/Essentials/Pro)
Webの通信	XDR Trend Vision One – Zero Trust Secure Access (Internet Access/Private Access)	アカウントやデバイスのリスク状態などをもとにインターネットやプライベートアプリケーションに対するアクセスの動的な制御、インターネットアクセスの脅威検査など、ゼロトラスト実現への一要素となる機能を提供。
生成AIサービス	Trend Vision One – Zero Trust Secure Access AI Service Access	生成AIサービスに対するプロンプトインジェクションをはじめとしたサイバー攻撃からの保護。機密情報の漏洩防止、シャドーAIサービスへのアクセス制御、不適切な生成AIからのレスポンスをブロック。
ネットワーク上の通信	Cloud Edge (SB/50/100 G2/G3)	アプライアンスを設置することで、多様な脅威に高度な技術で対応するUTM製品。クラウド上で管理コンソールとスキャンサーバを提供することで、利便性を向上。

*1 Worry-Free XDRは中小企業向けセキュリティサービス。EDRとEPP機能はウイルスバスタービジネスセキュリティサービスから提供



